

生徒が吃音に理解深める

女鳥羽中で人権学習



生徒の意見を聞きながら話を進める
内藤さん

松本市の女鳥羽中学校でこのほど、言葉が詰まったり出にくかったりする吃音（きつおん）について理解を深める人権学習が行われた。言語聴覚士の内藤麻子さん（54）

考えた。内藤さんは「吃音の人は100人に1人ほど。緊張などが原因ではなく、その人の自然な話し方と受け止めてほしい」と話し「うまく話そうとすると余計に話しづらくなるので最後までゆっくり耳を傾けて」と呼び掛け

幼い頃に「人と違う」と感じた皆川さんは「言葉が頭にあるのに出ない。言いやすい言葉に換えて話す工夫をした」と話した。一

方で、伝えたいことよりもスムーズに話せる内容を選ぶため「自分を否定しているみたいだった」と振り返り「理解者が増えたら吃音の人が楽に話せるようになる」と話した。

内藤さんは「友達の気持ちを想像し、何ができるか考えることを大切にしてほしい」と締めくくった。2年生の有賀正浩さん（14）は「ありのままを受け止めることを大切にしたい」と話していた。（田中千絵）

休日・夜間緊急薬局

◎は9-19時
□は9-18時
△は9-17時30分

21日◎いでがわ田多
井薬局（松本市出川町）☎0263・31・

5065◎梓川ききょう薬局（同梓川倭）☎63・81・0750□
0263・87・356 あんず薬局あづみ野店
0□クスリのアオキ桔梗ヶ原薬局（塩尻市塩尻駅北地区）☎0263・50・9791□あづみ野西口薬局（安曇）61
野市穂高地域）☎0263・81・0750□
あんず薬局あづみ野店（同豊科地域）☎0263・87・0227△
すみれ薬局（松川村）☎0261・85・20